

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンレーダー

2023 VOL.535

12



A-Policy【重点事業方針】

生産販売部 果実花き課の取組み 生活部 生活課の取組み

A-Reports

- ・「第45回長野県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」開催 … 05
- ・第76回長野県畜産共進会（肉豚の部）
～JA大北・（有）大北アグリサポート白馬アルプス農場が特別優秀賞を受賞～ … 06
- ・第33回テレビ信州キッズRUN!!2023
～未来のアスリートを信州パークと長野米で応援～ … 07
- ・「りんご三兄弟」お菓子やお酒の新商品発売 … 08
- ・「長野県きのこの日」盛り上げ
JA全農長野専門委員会 JR駅前できのこを配布 … 08

- ・近畿大学で花の意識調査と県産花きのPR … 09
- ・虹の花束コンサート2023開催 … 09

- ・JA全農長野の事業現況 … 10
- ・今月のおすすめレシピ … 10
- ・12月のラジオ番組表 … 10
- ・編集後記 … 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

(単位：千円)

大品目	5年度計画	4年度計画	4年度実績	計画対比	実績対比
リンゴ	10,000,000	10,000,000	10,179,994	100%	98%
ナシ	2,500,000	2,400,000	2,485,320	104%	101%
モモ	3,000,000	3,000,000	3,147,923	100%	95%
ブドウ	18,400,000	18,020,000	17,482,208	102%	105%
果実的野菜	2,000,000	2,000,000	2,550,916	100%	79%
特産果実	3,350,000	3,350,000	4,130,905	100%	81%
加工果実	500,000	500,000	484,341	100%	103%
果樹苗木	250,000	250,000	251,594	100%	99%
果実合計	40,000,000	39,520,000	40,713,201	101%	98%
花き	3,463,000	3,463,000	3,869,884	100%	89%
球根切花	2,095,500	2,082,500	2,330,210	101%	90%
鉢物	1,500	1,500	2,117	100%	71%
花購買	260,000	250,000	234,415	104%	111%
花き合計	5,820,000	5,777,000	6,436,625	101%	90%
合計	45,820,000	45,297,000	47,149,826	101%	97%

果実花き課

生産販売部 果実花き課の取組み

1. 令和5年度事業計画

2. 果実事業の進捗状況

■生産販売状況

本県の令和5年度果実の生産は、春先の凍霜害によりリンゴ、モモ、ナシを中心に大きな影響を受け、着果不良やその後の品質低下をまねきました。また、一部地域では雹害による被害も発生しました。全国的には夏場の記録的な高温・干ばつにより果実栽培に大きな影響があり、本県においてもブドウを除く品目においては当初計画と比べ数量減の見通しとなるなか、事前情報強化による売場確保対策、店頭での消費宣伝の強化に努めました。

本年の販売の特徴として、引き合いの強い状態が続いた点があります。これは当初、全国的には露地の果実は数量が確保されている見通しでしたが、夏場の長期的な高温・干ばつによる品質低下、ロスの発生により、夏場以降のリンゴを中心とした果実において特に数量の減少が激しく、売り場への供給が不足したためです。また、晴天の暑い日が続いたことで、スイカ、ナシ

等の販売が堅調であり、秋以降もシャインマスカットを中心にブドウが売り場のメイン商材になることで、総体的には安定した販売となっており、この傾向が年内は継続していくものと思われます。

■果実の重点推進事項

(1) リンゴフェザー苗の安定供給による

高密度わい化栽培の普及

主力品種を中心に、地域の特性に応じた振興品種への転換を図り、国の支援事業も活用しながら高密度わい化栽培を推進しています。



高密度わい化栽培圃場

また、フェザー苗に必要なM9台木の安定生産や、フェザー苗の事前の受注生産体制をさらに整え、令和6年春定植分としては、県全体で約9万本の供給を予定しています。

(2) 集荷対策の実施

今年は気象の影響により、特にリンゴのサビ果や斜形果、着色不良果等の発生が多いなか、専用のリーフレットや手提げ袋を作成し、下位等級品の優位販売に努めました。

また、特に系統集荷率が低くなる晩生種の時期には、継続的に実施している集荷対策チラシの配布に加え、今年



フェザー苗養成作業

は新たにSBCラジオでの集荷呼びかけ放送を11月8日～21日に計22回放送しました。
ブドウにおいても、増え続けるシャインマスカットの荷造り省力化対策として、PFC長野(株)向けに簡易荷造りによる集荷を行い、年末年始需要に向けた粒パック少量規格での試験的な販売を行います。



シャインマスカットの簡易荷造り

リンゴの専用
手提げ袋



(3) ぶどう三姉妹®、りんご三兄弟®のブランド展開

本格デビュー2年目となるクイーンルージュ®は、県JAGグループとしての標準出荷規格を作成し、継続的な規格検討会を実施して参りました。そのクイーンルージュ®とナガノパープルシャインマスカットを合わせた「ぶどう三姉妹®」のブランドPRとして9月4日(月)に大田市場でのトップセールス、「りんご三兄弟®」のPRとして10月20日(金)に長野県庁でのニッポンエール商品のお披露目会が、阿部知事、神農会長ご出席のもと盛大に開催されました(本誌8ページ参照)。その他にも、スイーツ・カフェ関係の飲食店でも積極的なコラボ企画(Ⅱ表紙右下)を展開して参りました。



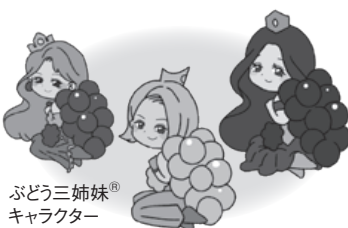
クイーンルージュ®規格検討会



ぶどう三姉妹®トップセールス



りんご三兄弟®
キャラクター



ぶどう三姉妹®
キャラクター

また、年齢問わず幅広い層から親しみを持ってもらえ、かつリンゴとブドウが一体となったブランド展開を図っていくことができるよう、新たなキャラクターを制作しました。今後はノベルティでの活用のほか、イベントやSNS等と連動した展開も企画します。

3. 花き事業の進捗状況

■生産販売状況

花の需要は、盆・春・秋彼岸などの物日といわれる需要期はもちろん、コロナ禍を経て、通常期も個人・家庭消費が定着したといわれています。一方、国産花きの生産基盤が縮小していること、為替相場の影響により輸入切花のコスト上昇などから、市場への入荷量が需要を下回る場面が増えています。

今年は春先の高温から生育が前進したところへ凍霜害があり、シャクヤクなどで被害がありました。また、夏場

の猛暑による生育の前進・短茎開花・開花遅延・花ヤケ等によるロスなどの影響があり、暑さ対策の重要性を再認識することとなりました。

販売面では、光熱費などを中心とした生産コストの上昇を受け、販売提案価格の引き上げも行っています。同時に、生産者がどのようにして花を生産しているかがわかるパンフレット（動画付き）を作成し、美しい花の生産背景も付加価値として提供しています。

■花きの重点推進事項

(1)物流課題対策・コスト低減など

アルストロメリア、カーネーションで全県下統一出荷規格・出荷容器の検討を進めています。出荷規格の統一により、系統共販の優位性ともいえるロット販売を有利に進めること、出荷容器の統一の検討ではパレット流通も見据えながら、コスト低減を図っていくことを目指しています。

カーネーションでは5月に大田市場で各産地の商品を比較し、統一していく重要性を確認しました。また、10月の合同会議では、出荷規格と容器の統一に向けて主要3JAが商品を持ち寄り、ダンボール箱をはじめ切花の結束方法や箱詰め方法などを検討しました。

来年度の出荷シーズンにポリユームのある一番花で再度検討を行い、パレット流通とコスト低減の新たな箱を提案できるよう進めています。



カーネーション箱詰検討会議の様子

(2)生産販売提案の取組み強化

アルストロメリアは出荷規格統一の成果として、主要4JAが合同で実需者への販売を行っています。実需者の一つであるユニテッドベジーズ(株)との取り組みは今年で10年目となり、合同商談会では販売提案単価の引き上げ交渉を行い、店頭宣伝会には全農長野



ユナイテッドベジーズ店頭宣伝

とJA担当者が販売応援に入っています。このことにより、担当者が実需者や店頭での消費者の生の声を聞くことができる貴重な機会としても活用させていただいています。

(3)消費宣伝事業の展開

7月20日～21日に花きの消費宣伝・消費拡大と、生産者の技術研鑽を目的として「第53回信州フラワーショーサマーセレクション」を開催し、一般公開を再開しました。来場者をさらに増やすことを課題とし、今冬の「ウインターセレクション」開催に向けては、事前告知の強化を行う予定です。



信州フラワーショーサマーセレクションの会場



作成したパンフレット

生活課

生活部 生活課の取組み

「長野県米消費拡大運動」生切り餅の推進について

ＪＡ長野県グループでは、令和5年9月開催の第6回ＪＡ長野県農政対策会議において、長野県産もち米（品種／もちひかり）を100％使用した「生切りもち消費拡大運動」に取り組むことを決定しました。

選定し取り組みましたが、品質等において高い評価をいただいております。長野県産生切り餅の特長は①製造先独自製法の「二段杵つき製法」と「急冷製法」によりコシが強く風

味豊かなお餅となっています。

②ひと切れずつ個包装しているため衛生的です。（1袋あたり19個～20個入り）

③餅に切れ目が入っているため、ふっくら焼けるだけでなく、割ることもできます。

年末・年始の焼き餅、お雑煮、お汁粉などはもちろん、普段のお食事で手軽にお召し上がりいただけます。④贈答用にも適した化粧箱（1kg×2袋入）での取り組みとなります。

この「生切りもち消費拡大運動」は、県内産もち米の生産量が減少した平成26年度～28年度では「国内産」もち米による取組みとなりましたが、平成29年度以降は「県内産」で再開し、息の長い運動で購入された方々からも高評価を頂戴しています。

コロナ禍もあり全国的なもち米の需給環境は大きく変化しているものの、県内産は全量県内卸向け出荷と県内産指定製品の拡充を進めてきた経過から、

全国情勢と比べると堅調に推移しています。ただし、今後も全国的な数量増減等の情勢に左右される可能性は考えられるため、引き続き県内産もち米の安定的な需要を確保することが必要です。

今後も、県内産もち米の需給喚起と消費拡大をはかり、需給環境にとらわれない安定的な生産者の所得確保に繋がるよう、ＪＡ長野県グループが一体となった取り組みが必要です。

ぜひ、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

これに伴い、ＪＡ全農長野生活課では今年度も生切り餅を「組織重点品目」として位置づけ、県下22,000箱を目標に10月～12月の期間で取組みを行っています。（令和4年度実績は21,425箱）

価格は、1,590円（税込）と昨今の諸経費（運賃、エネルギー、包材等）高騰のなかで昨年より値上げとなっていますが、他の餅製品と比較して値上げ幅を抑えた設定となっています。また、昨年からの新たな取扱先を

組合員・地域の皆様へ 長野県産もち米100％使用 令和5年

長野県産 生切り餅

長野県産 もちひかり使用

- 独自の杵つき製法で、丁寧につきあげたコシが強く風味豊かなお餅です。
- 便利な個包装タイプです。（1袋あたり標準19～20切れ入り）
- 2分割・4分割にしやすい切れ目入りです。
- 贈答用にもお使いいただけます。

長野県消費拡大運動

ＪＡ長野県グループは、良質な長野県産もち米（もちひかり）を100％使用した「生切り餅」による長野県消費拡大運動を実施いたします。長野県消費拡大に対する皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

税込価格 2kg 化粧箱 (1kg×2袋入り) 1,590円

(参考本体価格1,472円)

切り餅チラシ



「第45回長野県J A—SSドライブウェイサービスコンテスト」開催

長野県農協生活事業推進協議会燃料専門部会とJA全農長野は10月19日(木)、JAグリーン長野小島田給油所で、S

S(給油所)スタッフの店頭接客サービススキルアップやカーメンテナンス収益の向上、土気高揚による長野県JA—SSの活性化などを目的に「第45回長野県JA—SSドライブウェイサービスコンテスト」を開催しました。

2018年以来4年ぶりの開催と

なった昨年に続き、今年も晴天のなか、開催することができました。

コンテストは県内各地区から8名が出場し、迎え入れからお見送りまでの一連の流れなどを行うフルサービス給油にて、あらかじめ決められた設定条件や時間などのなかで、日ごろの店頭での接客サービスや知識、技術を競いました。

各選手とも当日まで励んできた練習



開会挨拶をする高木大会委員長



最優秀賞の村澤留美選手

の成果を発揮し、素晴らしい笑顔の接客サービスを披露し、レベルの高いコンテストとなりました。今回のコンテストをとおして、更なるサービス向上をはかり、お客様の満足度を高め信頼されるSSづくりに取り組んでいきます。



大会役員、審査員と選手

第45回長野県JA—SSドライブウェイサービスコンテスト入賞者(敬称略)

賞	J A名	SS名	氏名
最優秀賞	みなみ信州	アイロードあなん	村澤 留美
優秀賞	全農長野	南信事業所生活課	酒井 達也
優良賞	木曽	大桑	原 勇 太
優良賞	ながの	アンズロード	柳 澤 賢
優良賞	(株)あぐりライフ信州諏訪	玉川	野田 葉月



開会式で「接客基本用語」を唱和する選手

第76回長野県畜産共進会（肉豚の部）

「JA大北・（有）大北アグリサポート白馬アルプス農場が特別優秀賞を受賞」

JA全農長野は10月18日（水）、第76回長野県畜産共進会肉豚の部を松本市の（株）長野県食肉公社で開催しました。

審査には、県内の養豚農家から生後150日以上180日未満の肉豚枝肉14組28頭（雌1頭、去勢1頭／組）が出品され、松浦昌平審査委員長（長野県畜産試験場長）をはじめ5名の審査員が、個体ごとの優秀性や組内の相似性などを厳正に審査しました。



枝肉審査の様子

今回の共進会より出品条件と審査基準を変更し、去勢の部および雌の部から個体ごとの審査によりそれぞれ優秀賞を3点選抜しました。また、特別優秀賞は組の部として、枝肉重量差が審査基準の±5kg以内で、雌去勢ともに斉一性が高く品質も優秀な枝肉1組を選抜しました。

特別優秀賞ならびに県知事賞に選ばれた（有）大北アグリサポート白馬アルプス農場（JA大北）の枝肉は、雌・去勢の部ともに優秀賞には選抜されなかったものの、モモの厚み、脂肪付着も均一で、全体的に体形が揃った優秀な枝肉のため特別優秀賞を受賞しました。優秀賞は別表のとおり6頭が入賞しました。

新型コロナウイルスの影響により表彰式や枝肉見学を長らく中止していましたが、今回から再開しました。生産者やJA畜産担当者、長野県の家畜保健衛生所職員など多くの関係者が参



特別優秀賞を授与する小林畜産酪農課長

加し、養豚農家からは日頃の飼養管理や出荷適齢期を見極める技術の難しさを感じるなど様々な意見がありました。新型コロナウイルスや豚熱の影響で養豚生産者の交流が少なかったこともあり、技術交流など良い情報交換の場となりました。

畜産を取り巻く環境は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響により飼料原料の国際的な競合や、穀物価格の高騰、また、円安や原油高など様々な情勢が起因して飼料コストが依然高値で推移しています。JAグループでは生産コ

ストの高騰に伴う価格上昇について、理解醸成活動および消費拡大のPRを実施しています。これからも畜産酪農課では県内で生産される安全で安心なおいしい信州産肉豚の生産基盤を維持し、農家の経営安定と、より一層の品質向上、消費拡大に取り組んでいきます。

第76回長野県畜産共進会（肉豚の部）入賞者

（敬称略）

賞	JA名		受賞者名
特別優秀賞 （県知事賞）	組の部	大北	（有）大北アグリサポート白馬アルプス農場
優秀賞	雌の部	みなみ信州	本村隆雄
		みなみ信州	（農）SPFこがねや第二農場
		みなみ信州	（有）クリーンボーク豊岡
	去勢の部	上伊那	ウエムラファーム
		みなみ信州 松本ハイランド	（農）SPFこがねや第一農場 （有）岩垂原エスピーエフ農場

第33回テレビ信州キッズRUN!!2023 未来のアスリートを信州ポークと長野米で応援

JA全農長野畜産酪農課と米穀課は10月15日(日)、長野運動公園陸上競技場で行われた「第33回テレビ信州キッズRUN!!2023」に協賛し、副賞と参加賞を提供しました。

この大会は「子供たちに全県規模の大きな大会をきっかけに、将来アスリートとして活躍してもらいたい」という思いで始まり、駅伝やスケート、野球などの各スポーツで活躍する選手

を輩出しているレースです。県内各地から620名の小学生が集まり、熱戦が繰り広げられました。

畜産酪農課は、参加賞として「信州ポークの豚汁」を選手に振る舞いました。小雨が降る肌寒い天気の中「温かくておいしい」「走ってお腹が空いた」とおかわりする選手もいました。米穀課は新米のサンプリングを行い、「たくさん食べてね」と声をかけながら新米キャンペーンへの応募を呼びかけました。



豚汁の振る舞い



新米のサンプリング



副賞を贈呈する畜産酪農部の井出部長

また、1・2年生の部に特別協賛し、副賞として1位〜3位の選手に「信州プレミアム牛肉・信州ポークのすき焼き・しゃぶしゃぶセット」、4位〜8位の選手に長野米「パールの煌めき」と「信州プレミアム牛肉ビーフカレー・ビーフシチューセット」を贈呈しました。

畜産酪農課と米穀課は、信州の農畜産物に生産者の想いをのせて信州産ブランドをPRし、消費拡大に努めています。



「JA 全農長野」の表記がある1・2年生のゼッケン



子どもたちに大人気のリッキーも登場

果実花き課

「りんご三兄弟」お菓子やお酒の新商品発売

J A全農と大手食品・飲料メーカーなどで構成するニッポンエールプロジェクト協議会は「りんご三兄弟」を使った9商品を発売しました。発売に先立ち10月20日(金)に関係者が長野県の阿部守一知事を表敬訪問し、同プロジェクトの趣旨と商品説明を行いました(Ⅱ表紙上)。

全農の桑田義文専務は「晩生種のサンふじにつなげる早生から中生種の数量が増えていない。産地を盛り上げるためには、サンふじまでの品種のつながりが大切だと聞き、各メーカーに声をかけた」と言い、「この活動で生産者が笑顔になっていただければこんなにうれしいことはない」と話しました。J A全農長野運営



19日の圃場視察で説明する園主のJAながの金箱文夫りんご部会長(右)

営委員会の神農佳人会長は「この商品を起爆剤として長野県のりんごをさらに広めていきたい」と期待しました。阿部知事は「各食品製造業の皆様が一致団結して結集していただけることは大変ありがたい。様々な

「長野県産りんご三兄弟」をテーマとした商品



県産農産物を活用していただき、連携して販路拡大を進めたい」と述べました。

一行は前日の19日(木)、長野市のりんご圃場を視察し収穫を体験しました。桑田専務は「園主からしっかりとってほしいと言われた。その期待に応えたい」と力を込めました。20日午前には長野県果樹試験場を訪ね、意見交換をしました。笹脇彰徳場長は「大切に育成してきたりんご三兄弟を商品にいただいた。これらの商品で果物の名前が広く知ってもらえることはありがたい」と述べました。

「ニッポンエールプロジェクト協議会」は、J A全農とメーカー・販売先が一緒になって、商品を通じ、産地を応援していくという活動で、全農と企業が同じテーマで商品を開発・販売し、ともにPRやキャンペーンを展開することで産地応援に取り組んでいます。今回の「長野県産りんご三兄弟」は、第1弾の宮崎県産日向夏につづく第2弾です。

「長野県きのこの日」盛り上げJ A全農長野専門委員会 JR駅前できのこを配布

J A全農長野きのこ専門委員会は11月10日(金)、11月11日の「長野県きのこの日」に合わせきのこを食べる機会を増やしてもらうと、長野市のJR長野駅前できのこを配布しました。

「長野県きのこの日」にちなみ、えのきたけとぶなしめじ、なめこ、エリンギを合計1111個配りました。

レシピやスープの素を手渡し、きのこの食べ方を提案。きのこの生産コストの上昇についても理解を促しました。受け取った70代の女性は「毎日きのこを食べています。早速夕食に使いたい」と喜んでいました。

同専門委の佐々木真委員長は「生産に使う

培地や燃料はもちろん、包材、段ボール箱まで、全てのコストが上がっているが価格に転嫁するのは簡単ではない。需要が高まり、引き合いがあれば市場価格も上がるので、たくさん食べてほしい」と話していました。



野菜きのこの課

近畿大学で花の意識調査と 県産花きのPR

J A全農長野大阪販売事務所は10月30日(月)、関西方面花き取引市場7社と全農長野が構成する京阪神地区信州花き販売推進協議会の活動として、近畿大学の学生を対象に花に関する意識調査と長野県産花きのPRを実施しました。

学校法人近畿大学の協力の下、同大学東大阪キャンパス内の講義室をイベントスペースとしてお借りし、大学生の若い皆さんが「花に対してどのようなイメージを持っているのか」についてアンケート形式で調査しました。協力いただいた学生の皆さんには県産アルストロメリア



とユーカリを使った花束と県産りんご果汁100%ジュース、県産花きのパンフレットをプレゼントし、長野県で栽培されている花きを紹介しま



した。
イベントは夕方1時間行い30名の来場を予定して50名分のプレゼントを用意したところ、多くの皆さんの協力をいただき、用意したプレゼント

は30分で終了しました。

アンケートでは「花を贈ったことがありますか」との質問に、「母の日に贈った」「卒業の際、担任の先生に贈った」と回答する学生が多く見受けられました。今回得られたアンケートの回答内容を分析し、今後の消費宣伝に活かして参ります。今回の活動は協議会員である市場の方々も大いに手応えを感じており、今後も同大学と連携し、花きの消費宣伝活動を展開する予定です。

虹の花束コンサート2023開催



県内出身の演奏者

11月7日(火)にまつもと市民芸術館、23日(木)に長野県県民文化会館で虹のホールグループの9 J A *主催による「虹の花束コンサート」を開催しました。当コンサートには、グリーンフサポートの一環として「ご遺族の心に寄り添う時間を提供すること」を目的に、令和4年度にJ A虹のホールで葬儀をされたご遺族を招待しました。コロナ禍を挟み4年ぶり10回目の開催でありましたが、松本会場538名と長野会場702名、合計1,240名のご

来場をいただきました。

コンサートでは、長野県出身の深沢雅美さん(ピアノ)、宮岡由美子さん(フルート)、小山弦太郎さん(サクソフォーン)、山内俊輔さん(チェロ)の4名が、カッチーニの「アヴェエマリア」など13曲を演奏。アンコールの「上を向いて歩こう」では、来場者が演奏に合わせて歌い、温かな音楽の調べが会場を包み込みました。



プレゼントのカーネーションを受け取る来場者

閉演後は来場者へ感謝の気持ちを込めてカーネーションをプレゼントし、大変喜ばれました。ご協力・ご協賛いただいた関係J A・関係会社の皆様に感謝申し上げます。

*主催9 J A

J A長野八ヶ岳、J Aみなみ信州(株) J Aサーピス、J A信州諏訪(株)あぐり、J Aフ信州諏訪、J A木曽、J A松本ハイランド、J Aあつみ、J A大北、J Aグリーン長野、J Aながの

JA全農長野の事業現況▶

令和5年度10月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		0	0	0
野菜種苗センター		112	87	94
生産振興部計		112	87	82
米	穀	9,663	95	102
果実花き		34,848	106	105
野菜きのこ		59,331	93	108
営業		10,518	90	107
生産販売部計		114,360	97	106
包装資材		5,806	103	109
生産資材		5,211	96	79
農業機械		3,837	95	100
施設住宅		5,612	125	134
生産購買部計		20,466	104	103
畜産酪農		18,696	102	105
三岳牧場		167	109	103
SPF繁殖センター		165	92	94
ハケ岳牧場		162	107	134
畜産酪農部計		19,190	102	105
燃料・ホームエネルギー		14,308	101	98
SS協同経営		4,521	112	103
生活		5,311	107	102
生活部計		24,140	104	100
長野県本部計		178,261	99	105

(内部販売高含む)

12月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
12/27(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえびりでい内 「暮らしの応援団」	農業機械課

グリーンレーダー
X(旧ツイッター)はこちら▶



今月のおすすめレシピ

第39回牛乳・乳製品利用料理コンクール長野県大会
優良賞(長野県牛乳普及協会長賞)

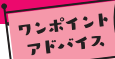
たっぷりキノコの まろやかキムチスープ



■材料(4人分)

- ・ヨーグルト..... 200g
- ・キムチ..... 200g
- ・好きなキノコ..... 200g
- ・木綿豆腐..... 150g
- ・ごま油..... 大さじ1
- ・水..... 300ml
- ・鶏がらスープの素..... 小さじ1.5
- ・塩コショウ..... 適量

- ①キノコと豆腐を食べやすい大きさに切る
- ②鍋にごま油をひき、キノコ、豆腐、キムチを炒める。
- ③②に水300ml、ヨーグルト200g、鶏がらスープの素小さじ1.5を加える。
- ④塩コショウで味を調えたら完成



*酸味の効いたまろやかキムチスープ!旬のきのこをたっぷり使用しています。

*ヨーグルトを入れることで辛さがマイルドになり、お子様もおいしく食べられます。

グリーンレーダー
WEB版はこちら▶



編集後記

今年は夏場からの異常な暑さが続きましたが、11月も半ばになりようやく冬の気配配置となりました。浅間山の初冠雪は平年に比べて13日遅かったものの、空気が澄み冠雪した山々と青空のコントラストを見れば「いいよ冬が来る」と感じられたかと思えます。

食料・農業農村基本法、また補正予算などについては政府・与党における議論が活発化してきております。JAグループでは「食料安全保障の強化」「再生産に配慮した適正な価格形成の仕組みの具体化」「農業の持続的な発展」の3点を重点要請事項とし、今後の農業政策の確立に向けた関連予算の万全の確保、また、食料安全保障強化政策大綱への反映などに向け対応をすすめています。

その基本的な考え方は、全中会長が茂木守会長であつたおよそ10年前、TPPに端を発する、世界の食料需給逼迫と日本の食料自給率議論の中で「農は国の基(もと)」で国民の礎である、「つまり国の基である農を再生させ、日本人の「食」を安定的に確保するためには、農業生産額と農業所得を増大させて農業農村を元気にすることが必要とするものです。今日、アフターコロナによる「DX等のグローバル化の加速、地政学的リスクの高まりなどを踏まえれば、農は国の基で国民の礎である」とした基本的な考え方は、現下においても重要であり前述のJAグループ重点要請にも通じていることがわかります。

今月は難しいことを言っているように思えますが、筆者はこの手の話をするとき宮崎駿監督の「天空の城ラピュタ」でシタが言う「人は、土から離れては生きられないのよ」というセリフが思い浮かんで仕方ありません。(一)

ごっつあんです

信州の農畜産物



JA全農長野は、長野県の農畜産物をとおして御嶽海関を応援しています

グリーンリーダー12月号（毎月発行） 2023年11月20日発行
発行／JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 第535号
発行人／高田武司 印刷／PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

